

令和元年 6月

校内研修

これからの教師に求められる  
リーダーシップ

S

昭島市立拝島第二小学校

校長 小瀬 和彦

# I 求められる人間像

『大量のモノを消費し続ける』生き方から



『質の高い経験と人生を重んじる』生き方に転換する!

『変化への対応力が高い』人から



『変化を起こす力のある』人へ!

『なぜ』そうなるかを自ら考え・模索し、興味・関心の対象を深め・広げて追究し、世界(社会・自然)に飛び込むことにより、生活や人生を豊かものにし、自分の価値を高めることができる。

自らの運命を自ら開拓していくことができる人間の育成

## Ⅱ 変化の激しい社会

A I ・ I of T ・

デジタル化する社会  
グローバル化、都市化



社会の多様化・複雑化



・ 社会構造の多様化・複雑化 ⇒ 地域社会・家庭状況の多様化・複雑化 ⇒ 子供一人ひとりの多様化・個性化



リーダーシップの発揮

### Ⅲ 教師一人ひとりに求められるリーダーシップ

ある程度、均質化した  
学校・学年・学級・家  
庭・子供



校長・教頭・教務主任  
等の一部が  
リーダーシップを発揮

複雑化・多様化した学  
校・学年・学級・家  
庭・個性的な子供



教師一人ひとりが、  
誰もがリーダーシッ  
プを発揮

Leadership is mobilizing people to tackle tough problems.

リーダーシップとは、難問に取り組むために人を動かしていくこと

### Ⅲ 教師一人ひとりに求められるリーダーシップとは

リーダーシップは、組織のトップや  
チームリーダーに固有の能力ではない！



メンバー全員がもつべき能力！



それぞれの立場でリーダーシップを発揮する  
ことで、機動的かつ柔軟な組織となる！

【学校力が向上する！】

## IV リーダーに求められるタスク=リーダーシップ

※ リーダーシップは、「才能」ではなく、「生得的な素質」でもなく、鍛えることができる能力である

- 1 ビジョンを掲げる
- 2 先頭を走る
- 3 決断する
- 4 伝える

# 1 ビジョンを掲げる

ビジョンとは

夢・希望・目標  
最終的な到達地点

- 指揮台に立ったコンダクターはチームプレイヤーに共通の目標（ビジョン）を提案します。
- 提案されたプレイヤーは、『この人と一緒に演奏したら、きっと素晴らしいものができる』と皆が感じ、力を合わせて本気で取り組むことができます。

ビジョンは、チームメンバーを鼓舞できるものではなくてはなりません。

## 2 先頭を走る

明確なビジョンを掲げた上で

『最初の一人となる』のは、負担が大きく、その立場に自らをおくことは、勇気がいります。それでも『最初の一人になる』『先頭に立つ』ことをいとわないのがリーダーです。

先頭に立って何かを始めれば、それだけ批判の矢面に立ったり、失敗したりする可能性もある。

率先して挑戦してみる。それによって人を動かし、チームを動かし、成果を生み出し、目標を達成する。

リーダーシップとは、従来の自分の枠を超えて、新たな一歩を踏み出すこと！



# 3 決断する

明確なビジョンに基づき

**リーダーとは分析・判断し、決断する人！**

十分な情報が揃っているのなら、リーダーでなくても決断はできます。

リーダーシップを取ることと、リスクを取ることは、表裏一体の関係！

**リスク・失敗を恐れず決断する！**

### 3 決断する

「部下の自分が上司に対して、『こうしたほうがいいと』と主張することで、もしかしたら上司に嫌われてしまうかもしれない。それでもし失敗したら評価だってさがるかもしれない」

しかし、リスク恐れているだけでは、現状は何も変わらない！

よくない部分を指摘して、建設的な変化に踏み出すことは、リーダーシップの重要なポイント！

# 4 伝える

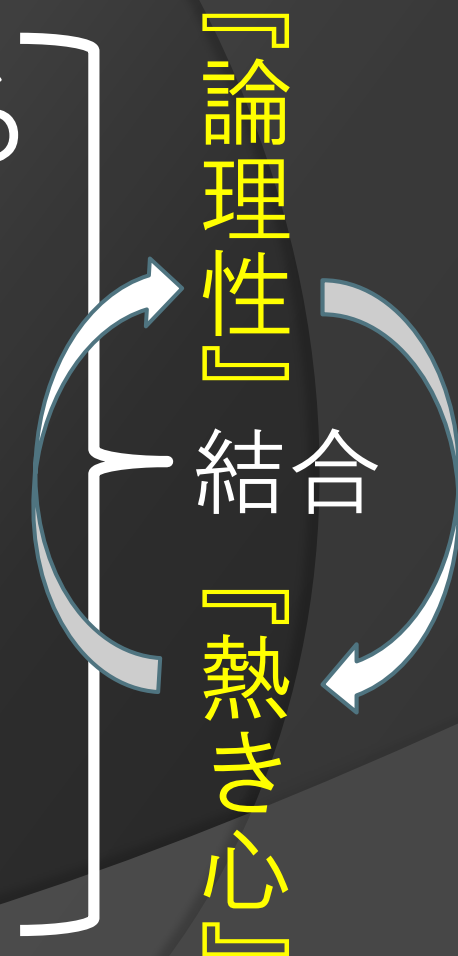
明確なビジョンを！

- リーダーの大切な仕事の一つがコミュニケーションです。
- 言葉によって人をゆり動かすことは必須となります。
- 語りかけ、思いや考えを伝え、共有する。

優れたリーダーは、説明責任を果たし、言葉のもつ力を知り尽くしている。

### Ⅲ リーダーに求められるタスク

- 1 ビジョンを掲げる
- 2 先頭を走る
- 3 決断する
- 4 伝える



## IV エモーショナルインテリジェンス(EQ)

自己や他者の感情を認識して、コントロールする力

### リーダーシップの3要件

- 1 自分の感情に気付く
- 2 相手の感情に気付く
- 3 グループの感情に気付く

## IV エモーショナルインテリジェンス(EQ) リーダーシップの3要件

### 1 自分の感情に気付く

自分の感情のおもむくままに行動するのではなく、一歩立ち止まって、「いま自分は怒っている」ということを認識できれば、「なぜ怒っているのか」「どうすれば怒りは解消できるのか」という方向に意識をむけることができる。

自分の感情の変化をその都度認識すること、これが自分の感情をコントロールする第一歩です。

# IV エモーションナルインテリジェンス(EQ) リーダーシップの3要件

## 2 相手の感情に気付く

相手の感情をきちんと認識する。

「他人が何をどう感じるか」を直接コントロールすることはできない。

しかし、相手がどういう気持ちでいるか把握できれば、その人に影響力を及ぼすことができる。相手の気持ちを汲んだ上で、建設的な議論ができるように仕向けるのが、リーダーの役割である。

## IV エモーショナルインテリジェンス(EQ) リーダーシップの3要件

### 3 グループの感情に気付く

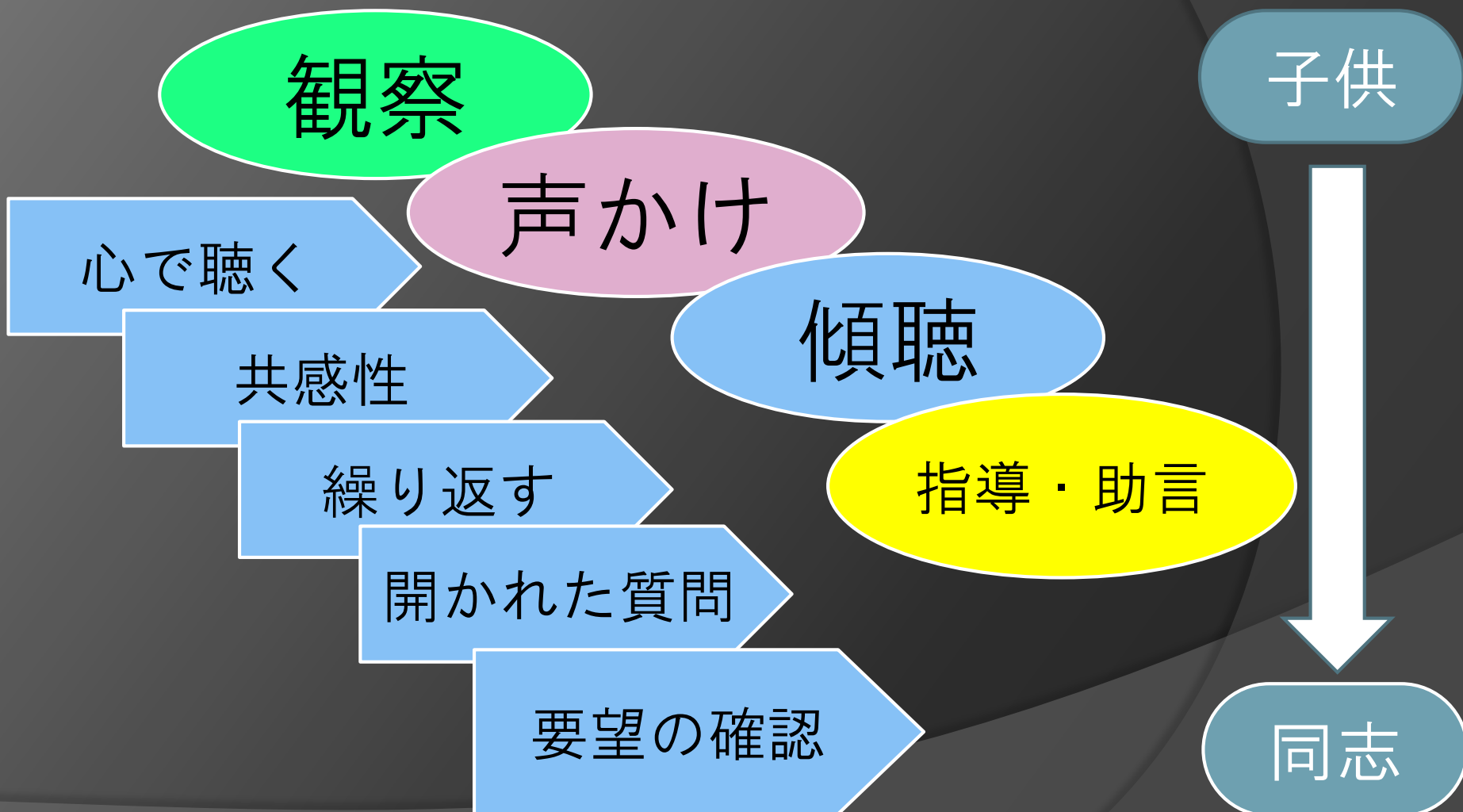
自分と相手という関係性を超えて、グループの感情をうまくコントロールすること。

集団の中でリーダーシップを発揮するには、1対1の関係だけではなく、グループ全体の雰囲気や感情を敏感に嗅ぎ取り、目的の達成に向けて、全員が協力する体制を築く必要がある。



# VII コーチング

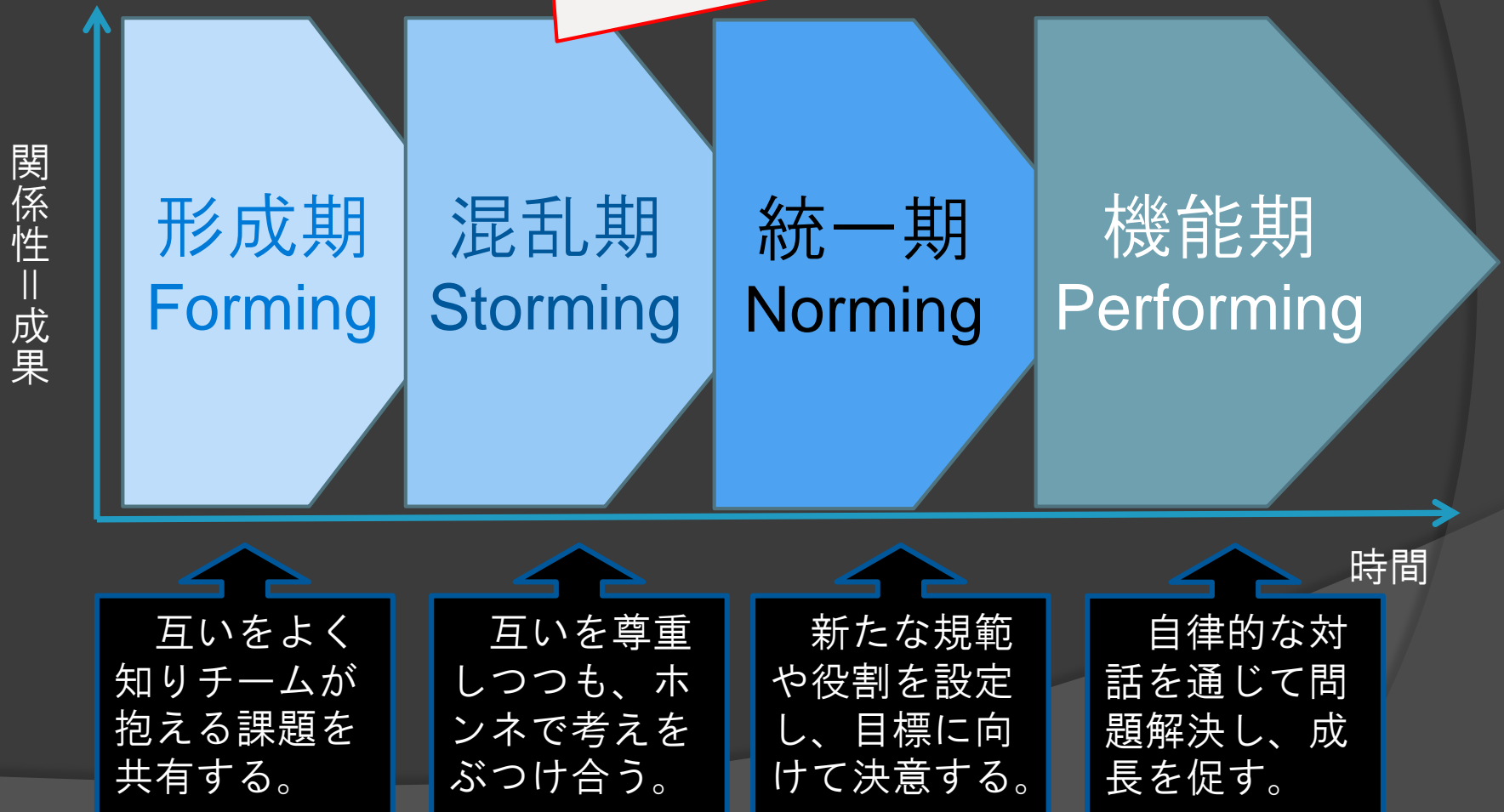
子供のサインに早めに気づき、  
迅速、かつ適切な対応を



# Ⅸ リーダーシップを発揮するための組織論

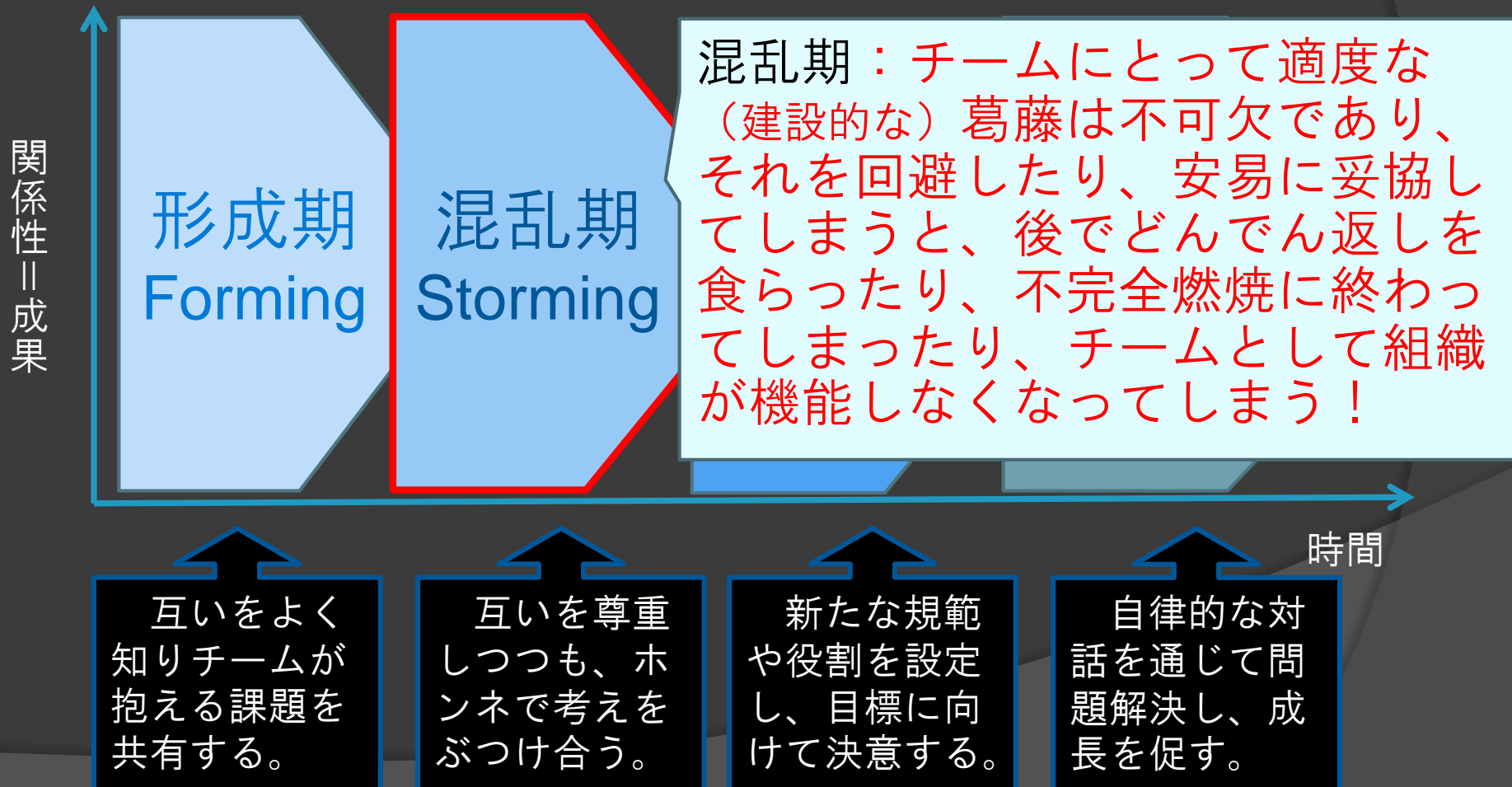
チーム（学年・学級）は、形成期、混乱期、統一期、機能期の4段階で成長していく！

この段階を、いかに乗り越えるかが課題



# Ⅸ リーダーシップを発揮するための組織論

形成期⇒混乱期⇒統一期⇒機能期の4段階のプロセスを加速し、できるだけ活性化したチームを創るための活動=チーム・ビルディング



令和元年 6月

校内研修

これからの教師に求められる  
リーダー・シップ

F

昭島市立拝島第二小学校

校長 小瀬 和彦